

福岡での挑戦開始と 個人的に描いてみたビジョン

2021年1月27日
JANOG47



BBIX株式会社
伊集 治基(Haruki Ishu)

自己紹介



伊集 治基 (Haruki Ishu)

◆ インターネット的に好きなもの

- ・ コミュニティ(ヒト)
- ・ Beer & Peer 🍺🍺
- ・ 堂島

◆ バックグラウンド

- ・ 2008 – AS17522 (光回線の販売分析 とか)
- ・ 2016 – AS7671 (海外事業社向けに堂島DCのコマーシャル とか)
- ・ 2019 – BBIX (関西・東海・北陸・韓国担当 + 国内営業の責任者)

◆ JANOGと私

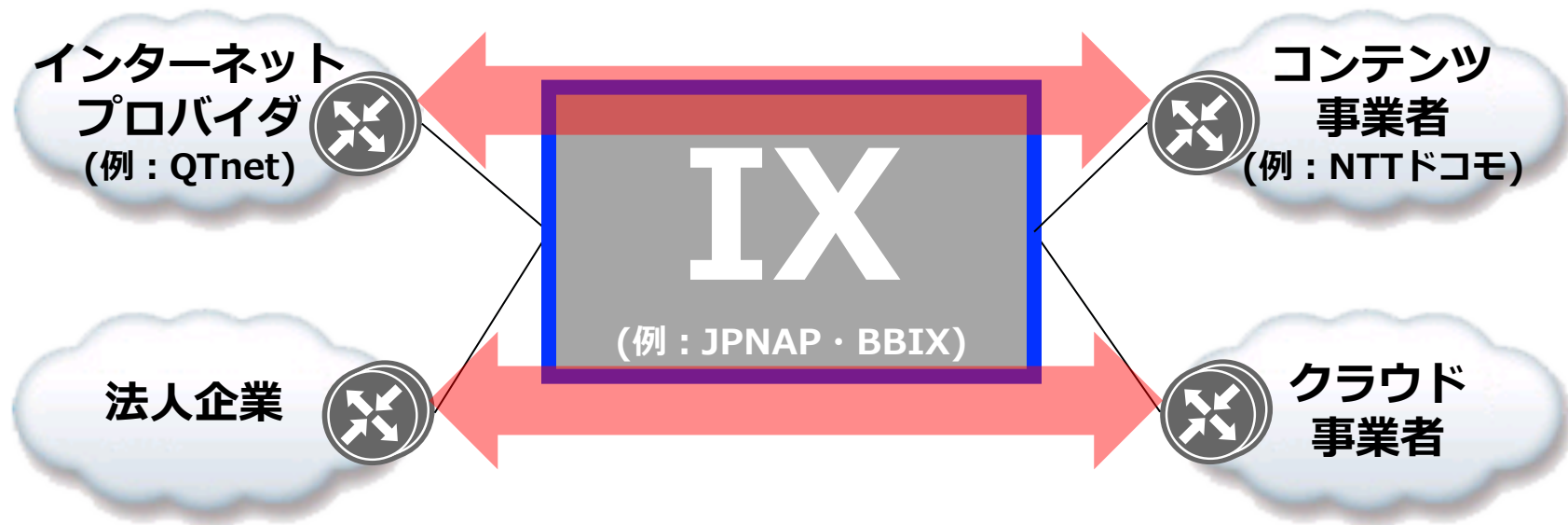
- ・ JANOG40@福島で初参加。感動するも、その後しばし業務都合でブランク
- ・ JANOG44@神戸～大手を振って参加できるように

西日本から皆さんとインターネットを盛り上げたい

インターネットエクスチェンジ(IX)とは？

ネットワークをシンプルに繋げる仕組み

コンテンツ使いたい人

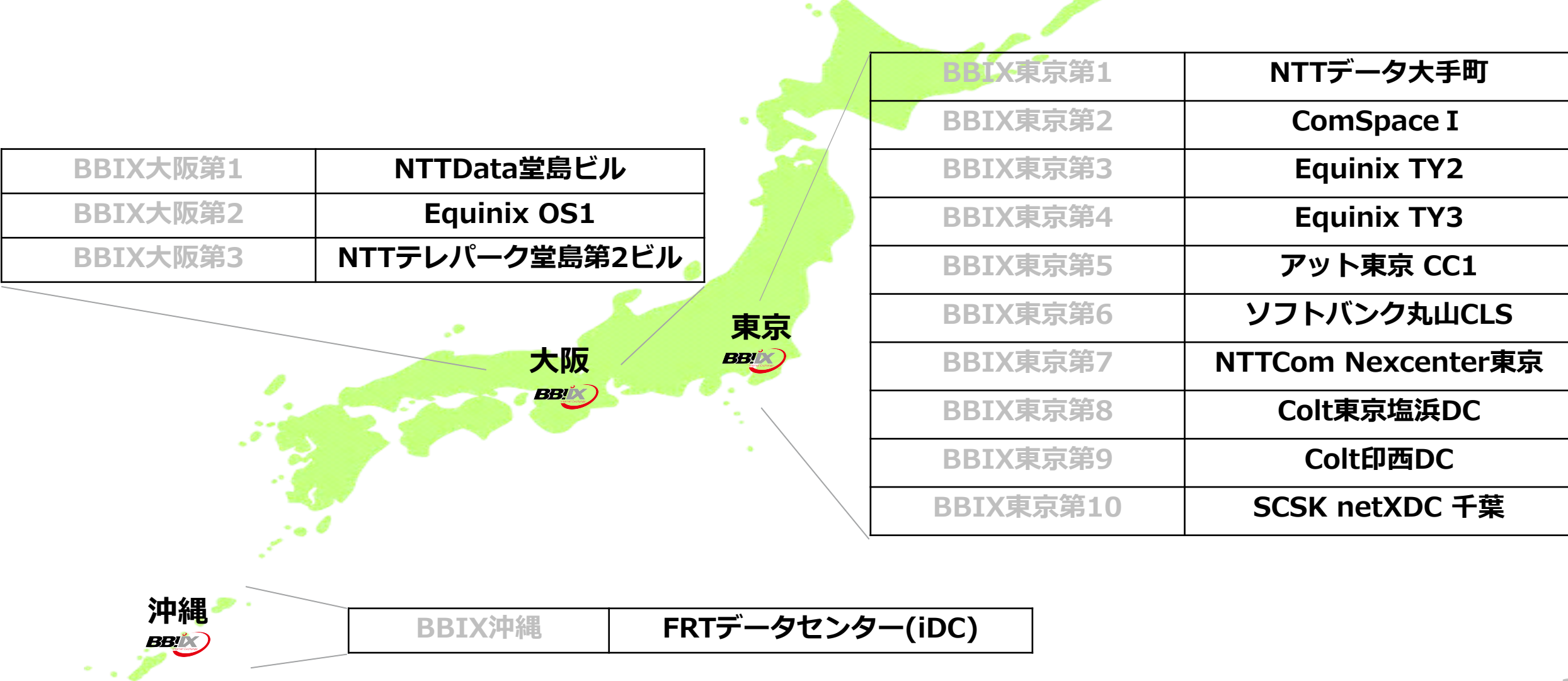


コンテンツ使って欲しい人

コンテンツを「使って欲しい人」と
「使いたい人」が相互接続する場所

登壇の背景

日本国内 14 箇所でサービス展開



登壇の背景

+ 福岡・仙台に進出



登壇の背景

+ 福岡・仙台に進出



何かと地域の話題が出る昨今、
JANOG Meeting **in FUKUOKA**の
タイミングで議論してみたい

はじめに：本プレゼンの前提

◆議論を発散させないことを目的に、

- ・「BBIX福岡」にフォーカスします（今回は、BBIX仙台には触れません）
- ・実証実験の内容には触れません（実験については、各地のNOGにて）

◆本発表は個人の見解です。ご了解ください。

2020/12/10

仙台および福岡で地域IXにおけるトラフィック流通効率化の実証実験を実施

2020年12月10日
BBIX株式会社
株式会社QTnet
株式会社Jストリーム
東北インテリジェント通信株式会社

仙台および福岡で地域IXにおけるトラフィック流通効率化の実証実験を実施
～地域における、あるべきトラフィック流通を目指して～

ソフトバンク株式会社の子会社でインターネットエクスチェンジ (IX) 事業を行うBBIX株式会社 (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 牧園 啓市、以下「BBIX」) は、株式会社QTnet (本社: 福岡市中央区、代表取締役社長: 岩崎 和人、以下「QTnet」)、株式会社Jストリーム (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 石松 俊雄、以下「Jストリーム」)、東北インテリジェント通信株式会社 (本社: 仙台市青葉区、代表取締役社長: 三浦 直人、以下「TOHKnet」) と共同で、仙台および福岡で地域IXにおけるトラフィック流通効率化の実証実験^{※1}を実施します。

インターネットトラフィックは、近年の継続的な増加に加え、在宅勤務や在宅授業など行動様式の変化により増大しています。特に首都圏・関西圏に集積するコンテンツ事業者からの送出の増大が顕著であり、これらの需要への対応は周辺地域のインターネット接続事業者の大きな課題となっています。

今回の実証実験は、Jストリームのコンテンツ配信基盤システムをTOHKnetの仙台中央データセンターおよびQTnetの福岡第3データセンターに構築し、同データセンターに開設済みのBBIX仙台センターおよびBBIX福岡センターを経由して、各地域のISPにコンテンツを配信します。既存の首都圏・関西圏からの配信との差異を計測することで、配信品質や耐障害性の向上、地域における回線帯域の拡張性の確保やコスト削減効果などを測定し、IXが地域のインターネット事業者の課題解決に寄与することを検証します。

福岡進出の経緯～**個人**と会社と～

A nighttime photograph of the Kobe city skyline. In the foreground, a large Ferris wheel is illuminated with red and white lights. To the right, a tall, cylindrical tower with a grid-like structure is lit up. The background shows various city buildings and lights reflecting on the water.

JANOG44 Meeting in Kobe

July 24-26, 2019

中村さん・西田さんと会話

福岡進出の経緯～**個人**と会社と～

- ・ 福岡内で、NTTドコモとQTnetは**とても近い** (直線で8km, 自転車圏内)
- ・ それなのに、**トラフィックは・・・**



往復1,800Km(東京) (FYI:博多駅～香港が約2,000km...)



良くて1,000Km(大阪)



- ・ **九州のトラフィックは九州で折り返したいよね～、と会話
(心の中に常にあった)**

福岡進出の経緯～個人と会社と～

<マーケット(数字は割愛)>

- ・ MEC等起因で、**トラフィック地域分散**の流れ
(詳細はMF山田さんにお任せします)
- ・ 九州に多くのASが！
(九州に進出→NWのお役に立てるかも = **ビジネスニーズ**が見込める)

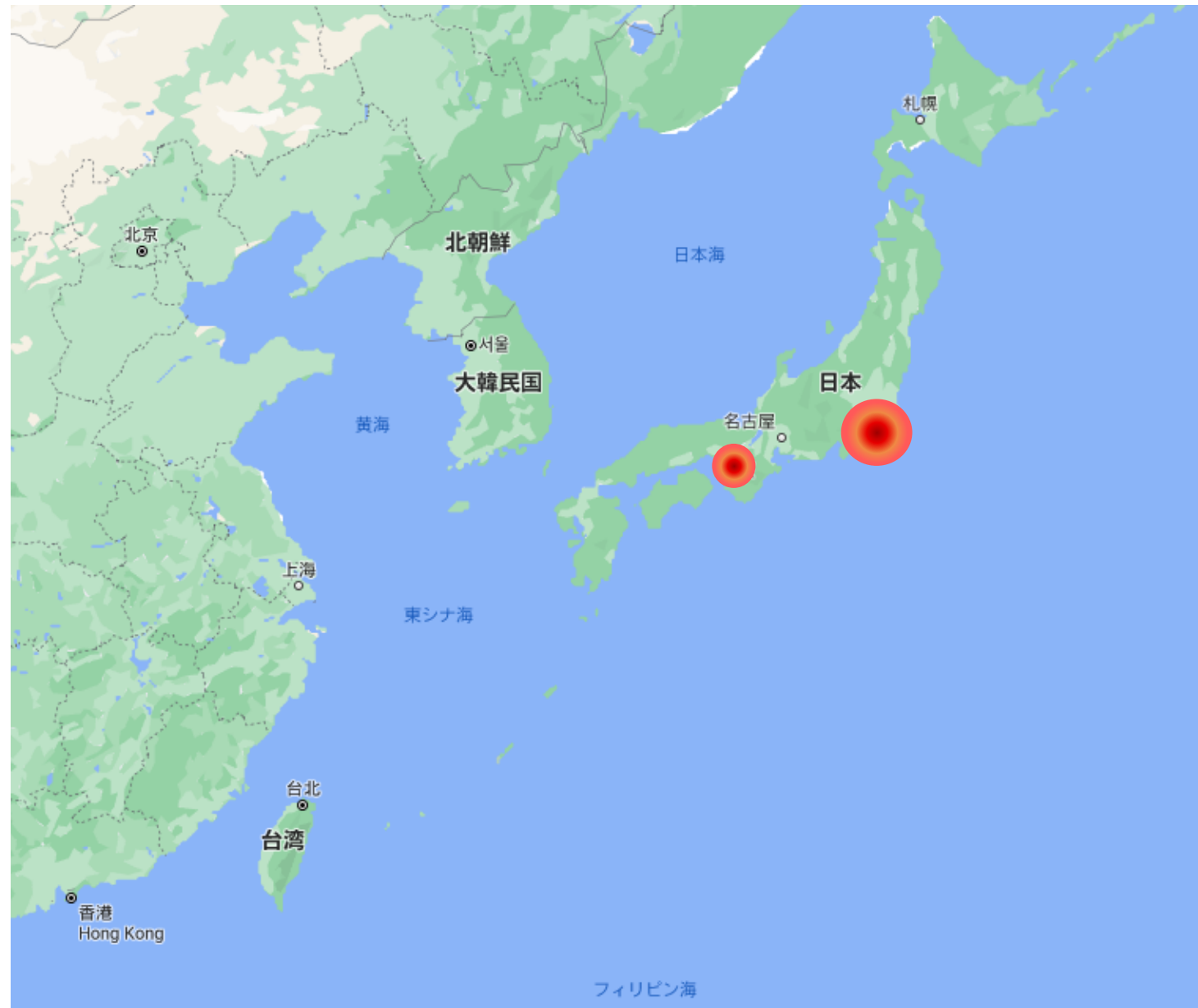
<大きな後押し>

- ・ 総務省さんの**実証実験公募**
→実験を通じての**インターネット業界への貢献**
(すごいスピードで社内意思決定や調整等が進む(感謝))

描いている夢(個人)(議論の叩き台のひとつに)

🔴: トラフィック(イメージ)

現状のトラフィックイメージ



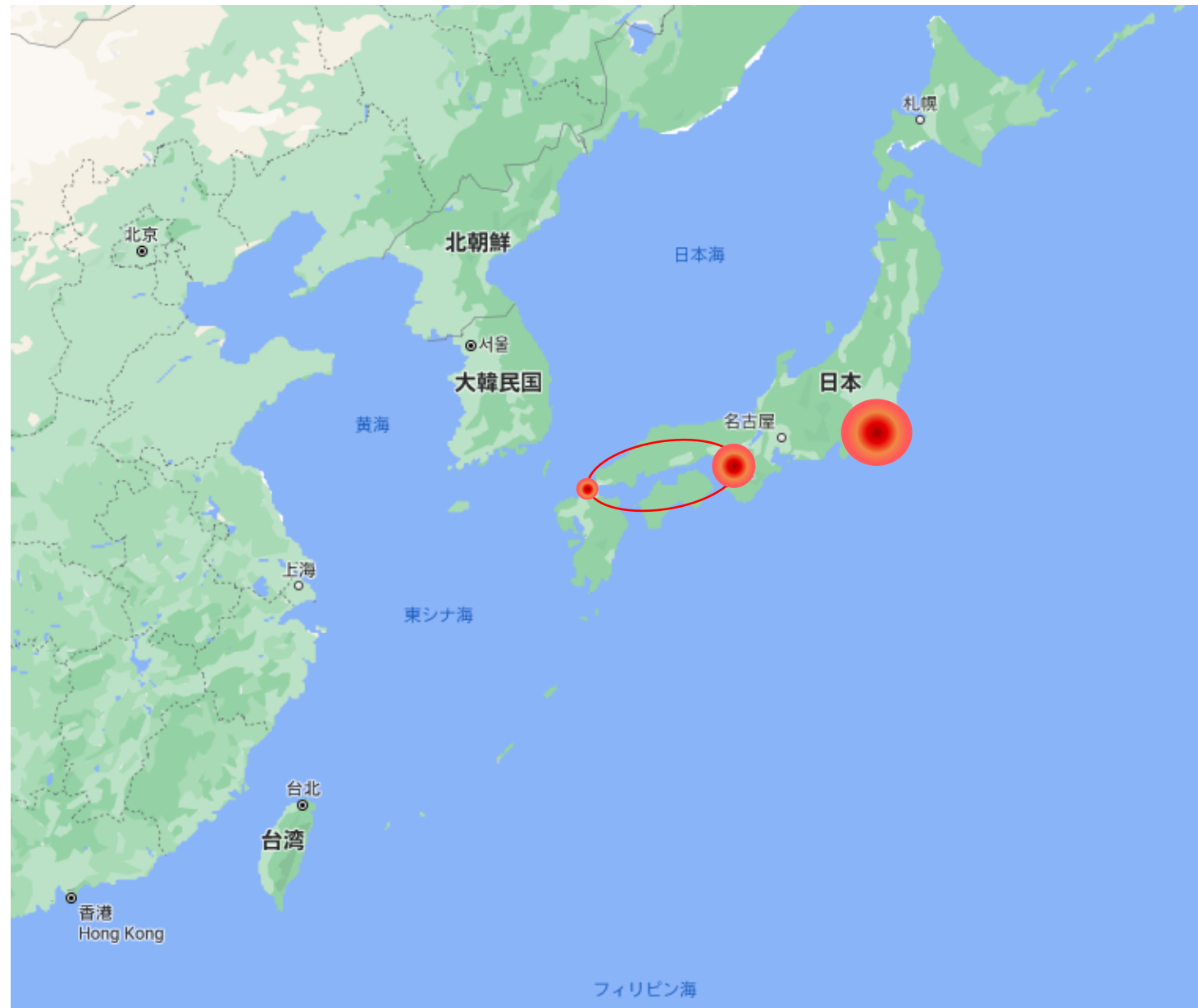
描いている夢(個人)(議論の叩き台のひとつに)

🔴: トラフィック(イメージ)

現状のトラフィックイメージ

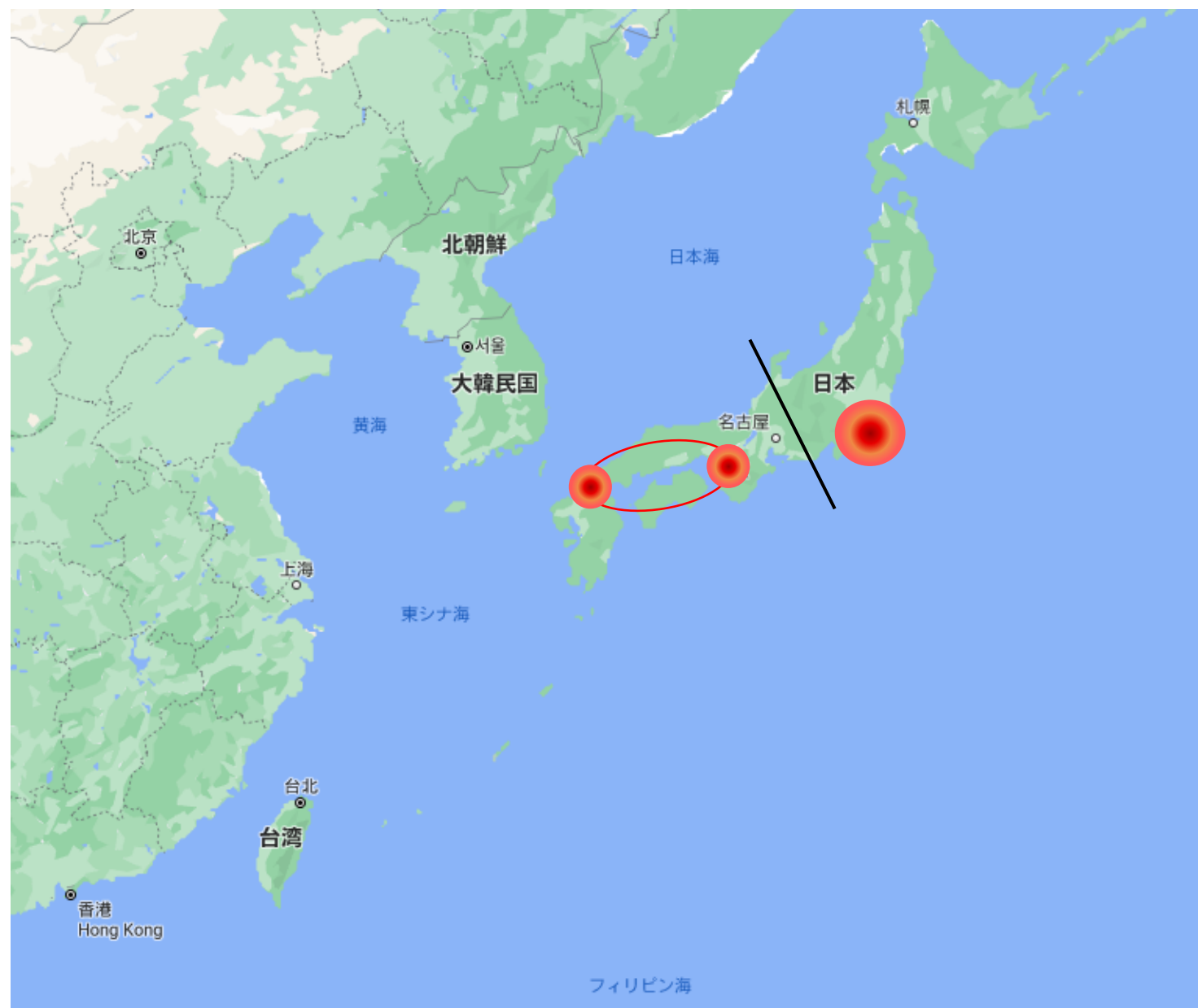


福岡でもトラフィック交換が可能に



描いている夢(個人)(議論の叩き台のひとつに)

🔴: トラフィック(イメージ)



現状のトラフィックイメージ



福岡でもトラフィック交換が可能に

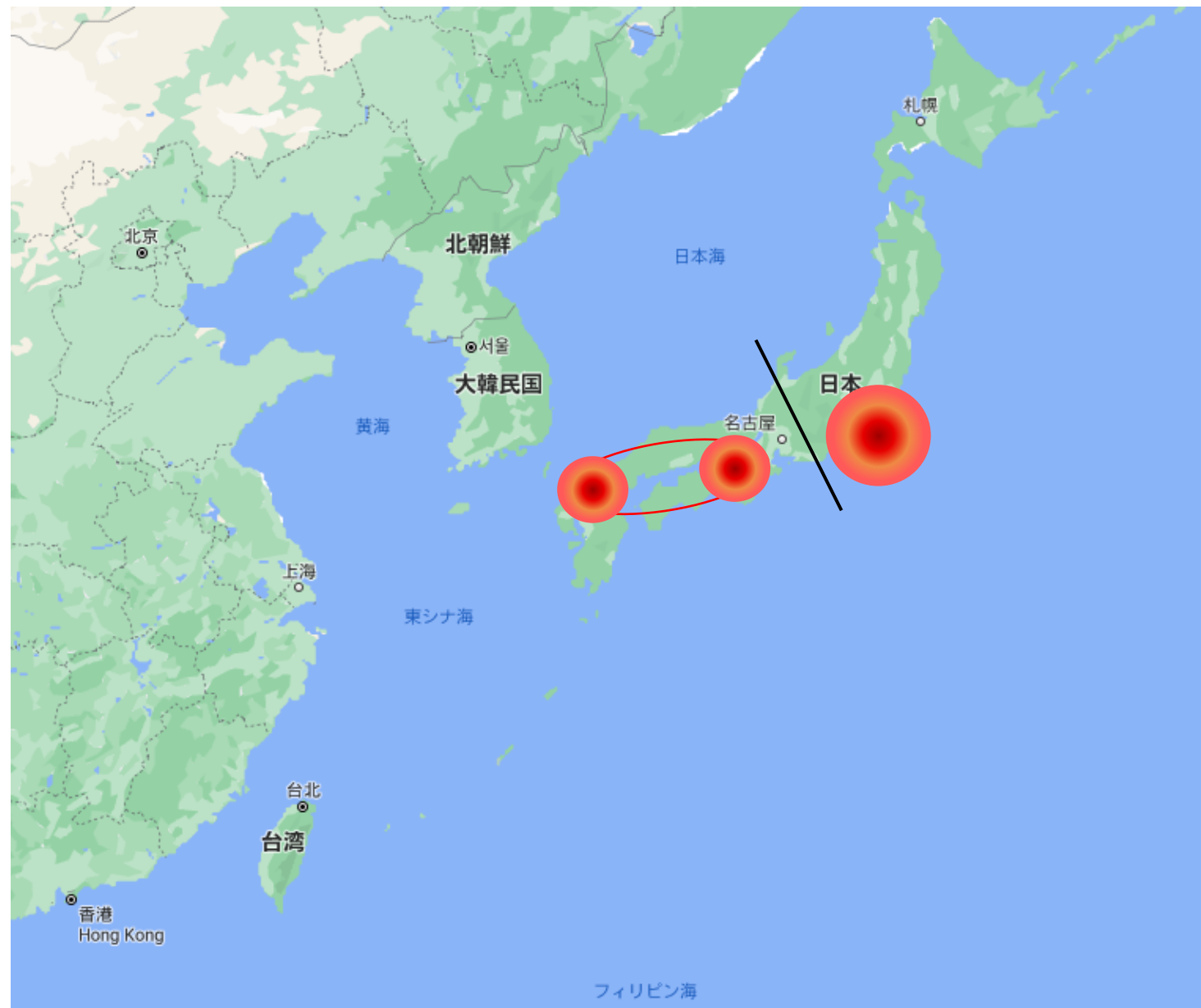


東西で遜色なくトラフィック交換が可能に
(大阪+福岡=東日本)



描いている夢(個人)(議論の叩き台のひとつに)

🔴: トラフィック(イメージ)



現状のトラフィックイメージ



福岡でもトラフィック交換が可能に



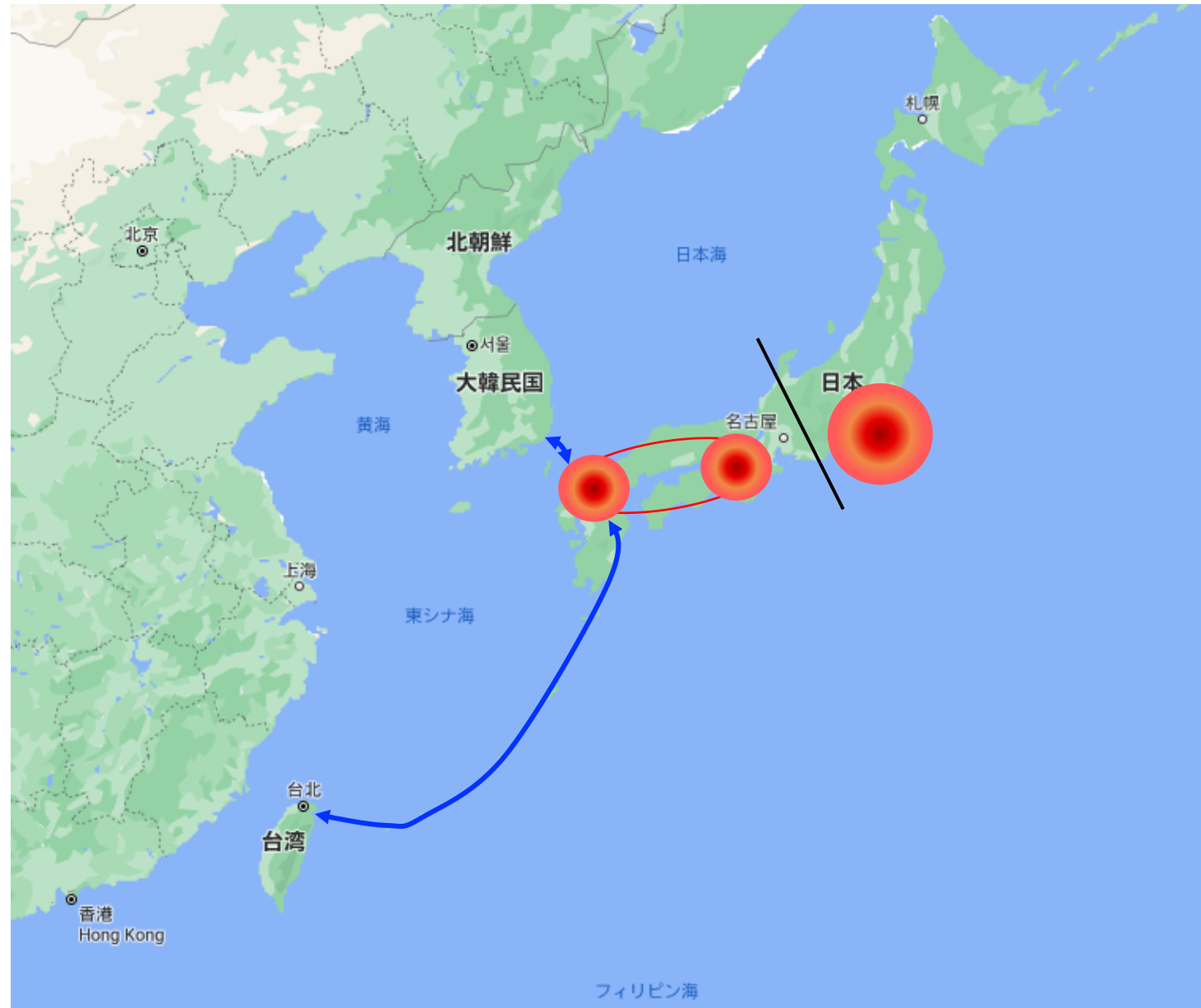
東西で遜色なくトラフィック交換が可能に



東西でトラフィックが成長

描いている夢(個人)(議論の叩き台のひとつに)

●: トラフィック(イメージ)
↔: 妄想



現状のトラフィックイメージ



福岡でもトラフィック交換が可能に



東西で遜色なくトラフィック交換が可能に



東西でトラフィックが成長



九州がアジアのHUBに(!?)



現状認識と課題

現状認識(都市別IXへの接続キャパシティ)

順位	都市	総キャパシティ		成長率
		2020/11/8	2018/4/1	
1	Amsterdam	52,801,925	32,217,325	163.89%
2	Frankfurt	49,000,723	29,106,025	168.35%
3	São Paulo/SP	44,377,748	35,176,583	126.16%
4	London	35,485,636	24,725,348	143.52%
5	Tokyo	34,628,920	16,581,420	208.84%
6	Singapore	22,103,600	7,977,700	277.07%
7	Hong Kong	18,057,090	6,994,610	258.16%
8	New York	16,269,050	6,026,133	269.97%
9	Stockholm	15,060,410	11,239,010	134.00%
10	Seattle	14,866,900	6,960,715	213.58%
11	Ashburn	13,834,680	7,068,204	195.73%
12	Osaka	13,353,000	3,342,000	399.55%
13	Chicago	12,942,604	7,199,884	179.76%
14	Moscow	12,403,863	4,936,708	251.26%
15	Warsaw	11,421,014	4,633,450	246.49%
16	Johannesburg	10,663,608	3,813,228	279.65%
17	Paris	10,113,230	4,883,972	207.07%
18	Dallas	9,804,300	4,255,300	230.40%
19	Atlanta	8,436,300	3,364,640	250.73%
20	Los Angeles	7,950,800	4,702,900	169.06%
21	San Jose	6,449,101	3,311,300	194.76%

西日本は、
特に急成長！

現状認識（東西AS数比較_{2021.1}）

	東京			大阪			大阪/東京		
		ISP /キャリア	コンテンツ		ISP /キャリア	コンテンツ		ISP /キャリア	コンテンツ
合計	320	177	143	105	73	32	33%	41%	22%
日本	156	122	34	82	72	10	53%	59%	29%
北米	70	5	65	20	1	19	29%	20%	29%
	アメリカ	69	5	19	1	19	28%		30%
	カナダ	1	0	0	0	0			
APAC	67	39	28	3	0	3	4%	0%	11%
	中国	12	2	2	2	2	17%		20%
	香港	12	4	1	1	1	8%		13%
	インドネシア	7	7						
	オーストラリア	7	4						
	フィリピン	6	4						
	韓国	5	3						
	シンガポール	5	2						
	台湾	4	4						
	タイ	3	3						
	ベトナム	3	3						
	マレーシア	1	1						
	スリランカ	1	1						
	モンゴル	1	1						
EU・中東	27	11	16	0	0	0	0%	0%	0%
	イギリス	9	5						
	フランス	5	1						
	オランダ	5	5						
	ロシア	3	3						
	スイス	1	1						
	オーストリア	1	1						
	チェコ	1	1						
	ルクセンブルク	1	1						
	UAE	1	1						

※PeeringDB掲載、かつIXに接続しているAS数(2021.1.4 伊集調べ)

課題

☑ ビジネスとしての魅力向上

- ・ 🐔 と 🥚 の関係ですが、ISP・コンテンツ事業者のみなさんに、いかに集まっていたかくか？

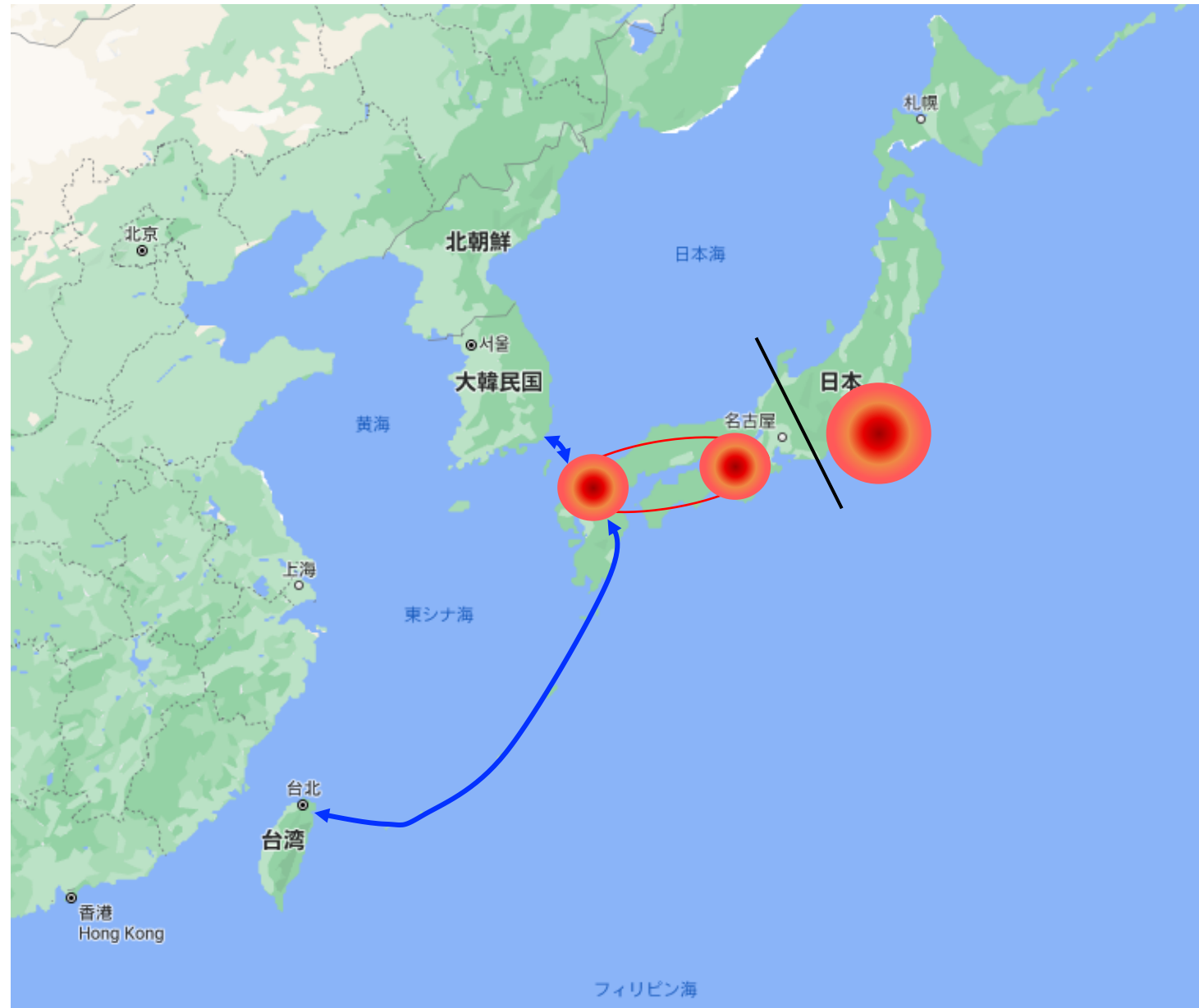
☑ HUBになるために

- ・ DCの選択肢の多様性が欲しい？
- ・ 回線の調達のし易さは十分？
- ・ 海底ケーブル(ビジネスとしての魅力が高まれば、ワンチャンあり!?)



描いている夢(個人)

●: トラフィック(イメージ)
↔: 妄想



九州のトラフィックは九州で！
九州をアジアのHUBに！
+コミュニティの輪が“さらに”
広がると嬉しいです！😊



ご静聴ありがとうございました

BBIX株式会社
伊集 治基(Haruki Ishu)

